Jacques Henri Lartigue

Capturing Moments of Joy

ジャック＝アンリ・ラルティーグ

幸せの瞬間をつかまえて

2016年4月5日（火）— 5月22日（日）

休館日：月曜日（5月2日は開館）　開館時間：午前10時 — 午後5時30分（展示室への入場は午後5時まで）

観覧料：一般1000円（800円）、大高生800円（640円）　（　）内は20名以上の団体料金。

※中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い1名を含む）は無料です。　※併せてMOMASコレクション（1階展示室）もご覧いただけます。

The Museum of Modern Art, Saitama

埼玉県立近代美術館

ジャック・アンリ・ラルティーグ（スーパーヴェルノン、コワイヤン）1926年9月　Photographie Jacques Henri Lartigue © Ministère de la Culture – France/AAHH

Jacques Henri Lartigue

Capturing Moments of Joy

人生とは、踊り、跳びはね、飛翔し、笑い…
そうして過ぎ去っていく素晴らしいものだ！

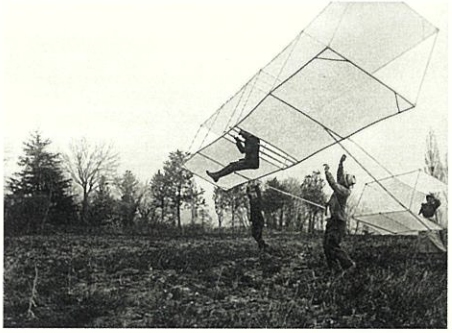
a

ジャック＝アンリ・ラルティーグ　幸せの瞬間をつかまえて

フランスの裕福な家庭に生まれたジャック＝アンリ・ラルティーグ（1894-1986）が父親からカメラを与えられたのは、7歳の時でした。幸せな瞬間がすぐに目の前から消え去ってしまうのを幼いころから恐れていたラルティーグは、そうした瞬間を残していけるカメラという新しい“魔法の機械”に夢中になり、生活のあらゆることを毎日写真におさめました。なかでも、スポーツやジャンプ、自動車、飛行機といった様々な動きをとらえることへのひときわ高い関心や、心霊写真のような写真ならではの表現へのあくなき探求心は、ユニークで鋭い視点の作品を生み出しました。また、家族や友人、恋人の幸せに満ちたすがたを愛情深くとらえた作品も多く残しています。この展覧会では、子ども時代から晩年までの代表的な作品と、その多くが日本初公開であるカラー作品など約160点を通して、写真を楽しみ、過ぎ行く時間や人生の歓びをつかまえようとしたラルティーグの世界をご紹介します。

b

c



d

e

f

g

ジャック＝アンリ・ラルティーグ

a.《スージー・ヴェルノン、ロワイヤン》1926年9月

b.《レーシングカー「ドラージュ」、A.C.F. グランプリ、ル・トレポー》1912年6月26日

c.《ぼく、ポン・ド・ラルシュ（パパ撮影）》1903年

d.《「ジスー22号機」の初飛行、ルザ》1909年4月

e.《ビビ、「エデン・ロック」のレストランにて、アンティーブ岬》1920年5月

f.《フロレット、ヴァンス》1954年

g.《ブルターニュ》1965年

Photographie Jacques Henri Lartigue
© Ministère de la Culture - France/AAJHL

◎スペシャルトーク「幸せの瞬間をつかまえて ―ラルティーグと堀内誠一」

5月5日（木・祝）午後3時～4時30分（開場は30分前）／2階講堂／定員：100名（当日先着順）／料金：無料／ゲスト：堀内花子／内容：デザイナー・堀内誠一の長女で、自身もラルティーグの写真集の翻訳に携わった堀内花子さんから、ラルティーグを愛してやまなかったという堀内誠一のエピソードなどをお聞きします。

◎ミュージアム・コンサート「うつりゆく日々、とどめおく光」

4月29日（金・祝）午後2時30分～（開場は30分前、演奏時間は約60分）／地階センターホール／定員：60席（当日先着順）／料金：無料／出演者：サキソフォビア（緑川英徳、竹内直、岡淳、井上JuJu博之）／内容：1998年に結成された、個性派サックス奏者による珍しい編成のジャズカルテットが、音によるダイアリーをお届けします。

◎映画上映会「ポゾール王の冒険」

4月24日（日）午前11時～（開場は30分前）／2階講堂／定員：100名（当日先着順）／料金：無料／監督＝アレクシス・グラノフスキー、1933年、フランス、68分、モノクロ、DVDによる上映／内容：フランスで大流行した通俗小説を原作としたコメディ映画で、ラルティーグがスチール写真を撮影しています。／フランス語での上映になります（字幕なし、あらすじを配布、上映前に解説あり）。

◎担当学芸員によるギャラリー・トーク

4月16日（土）、5月7日（土）／各日とも午後3時から30分程度／2階展示室／企画展観覧料が必要です。

ご希望のグループに「ジャック＝アンリ・ラルティーグ　幸せの瞬間をつかまえて」の見どころをご案内します（予約制）。
お問い合わせ・ご予約は電話048-824-0110　教育・広報担当まで。

次回の企画展　：「竹岡雄二　台座から空間へ」2016年7月9日（土）～9月4日（日）

◎MOMASコレクション（1階展示室）

●平成27年度第4期　～4月10日（日）

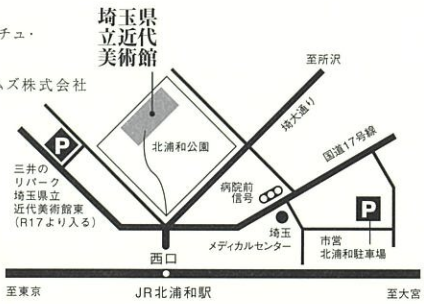
鈍色の輝き ―日本の近代洋画、アーティスト・プロジェクト：島州一　世界の変換と再構築、椅子の美術館のイス、震える青 ― 難波田龍起の抽象

●平成28年度第1期　4月16日（土）～7月10日（日）

セレクション ―モネとかピカソとか、re-presentation イメージの継承と創造、小村雪岱の版画

主催：埼玉県立近代美術館
後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本
協力：富士フイルムイメージングシステムズ株式会社
JR東日本大宮支社
FM NACK 5
企画協力：コンタクト

INSTITUT FRANÇAIS
アンスティチュ・フランセ日本
JAPON



JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分。当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので予めご了承ください。

埼玉県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Saitama
〒330-0061　さいたま市浦和区常盤9-30-1
tel.048-824-0111
http://www.pref.spec.ed.jp/momas/

©埼玉県2005
彩の国 埼玉県

Jacques Henri Lartigue

Capturing Moments of Joy

ジャック＝アンリ・ラルティーグ

幸せの瞬間をつかまえて

2017年7月22日（土）— 9月10日（日）

休館日：月曜日（8月21日 県民の日は開館）　開館時間：午前9時30分 — 午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料：一般・大学生1000円（800円）、高校生600円（500円）、小・中学生400円（300円）

※（　）内は団体20名以上の料金。　※障害者手帳等をご提示の方は無料です。　※コレクション展（2F）もあわせてご覧いただけます。

ジャック・アンリ・ラルティーグ（スージー・ヴェルノン、ロワイヤン）1926年9月　Photographie Jacques Henri Lartigue ©Ministère de la Culture - France/AAJHL

福島県立美術館
Fukushima Prefectural Museum of Art

Jacques Henri Lartigue

Capturing Moments of Joy

人生とは、踊り、跳びはね、飛翔し、笑い…
そうして過ぎ去っていく素晴らしいものだ！

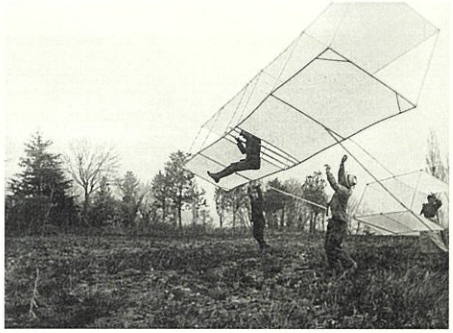
a

ジャック＝アンリ・ラルティーグ　幸せの瞬間をつかまえて

フランスの裕福な家庭に生まれたジャック＝アンリ・ラルティーグ（1894-1986）が父親からカメラを与えられたのは、8歳の時でした。感受性ゆたかな少年は、目前の「幸せな瞬間」を残していける“魔法の機械”＝カメラに夢中になり、生活のあらゆるできごとを毎日写真におさめたのです。彼は、撮りたいものをストレートに撮りました。跳びあがる猫、テニスやスケート、自動車レースや飛行機など、動くものをつかまえたいという素朴な欲求から、ユニークな作品が生まれます。また家族や恋人、友人たちとの幸福なひとときを愛おしむように撮影された作品は、作家その人の人生までもが記録され、観る者に不思議な懐かしさを味わわせてくれます。この展覧会は、その多くが日本初公開であるカラー作品を含め、幼時から晩年にいたる約160点を通して、写真をたのしみ、過ぎゆく時間や人生の歓びをつかまえようとしたラルティーグの世界をご紹介します。

b

c



d

e

f

g

ジャック＝アンリ・ラルティーグ

a.《スージー・ヴェルノン、ロワイヤン》1926年9月

b.《レーシングカー「ドラージュ」、A.C.F. グランプリ、ル・トレポー》1912年6月26日

c.《ぼく、ポン・ド・ラルシュ（パパ撮影）》1903年

d.《「ジスー22号機」の初飛行、ルザ》1909年4月

e.《ビビ、「エデン・ロック」のレストランにて、アンティーブ岬》1920年5月

f.《フロレット、ヴァンス》1954年

g.《ブルターニュ》1965年

Photographie Jacques Henri Lartigue
© Ministère de la Culture - France/AAJHL

◎ゲストトーク　金子隆一氏（写真史家）
「ラルティーグ：アマチュアから写真史の巨匠へ」

8月6日（日）午後2時～3時30分／企画展示室／企画展観覧料が必要です。／東京都写真美術館で長年写真展を企画した金子さんに、写真史におけるプロとアマ、写真集の魅力について作品を前にお話しいただきます。あわせて、福島の写真家・小関庄太郎についても振り返ります。

◎スペシャルトーク　堀内花子氏（堀内誠一長女）
「ラルティーグと堀内誠一のはなし」

8月27日（日）午後2時～3時30分／美術館講堂／聴講無料。午後1時開場予定。／ラルティーグを日本にいちはやく紹介したデザイナー、堀内誠一（1932-1987）。堀内は雑誌『anan』『BRUTUS』や絵本『ぐるんぱのようちえん』を手がけるなど卓越した仕事をのこしました。対談形式で堀内誠一とラルティーグの魅力と関連性をさぐります。

◎担当学芸員によるギャラリートーク

7月29日（土）、8月19日（土）、9月8日（金）／各日とも午後2時から60分程度／企画展示室／企画展観覧料が必要です。

ご希望のグループに「ジャック＝アンリ・ラルティーグ　幸せの瞬間をつかまえて」の見どころをご案内します（要予約）。
お問い合わせ・ご予約は電話024-531-5511　県立美術館団体受付係まで。

◎ワークショップ1　「チェキで撮ろう！ ～○○の瞬間～」

7月30日（日）、8月2日（水）、8月5日（土）／各日とも午後1時30分～3時30分／対象：小学生以上、各回12組程度／材料費：一人500円／講師：美術館スタッフ／内容：インスタントカメラ、チェキで、いろいろな「○○」写真をお互いに撮り合います。／申し込み締切：7月23日（日）　※先着順。2名以上でお申し込みください。

◎ワークショップ2　「どきどきわくわく！ ピンホールカメラ体験」

9月2日（土）、9月3日（日）／※2日連続、いずれも午前10時～午後3時30分頃／対象：小学生以上12名 ※小学生は保護者同伴／材料費：一人1000円／会場：実習室ほか／講師：千葉奈穂子氏（写真家）／内容：ピンホールカメラを手づくりして撮影し、暗室でゼラチン・シルバー・プリントを制作しよう。／申込締切：8月26日（土）　※先着順

ワークショップのお問い合わせ・ご予約は電話024-531-5511　実習受付係まで。ホームページからも予約可能です。

主催：福島県立美術館
後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本
特別協力：ジャック＝アンリ・ラルティーグ財団
協力：富士フイルムイメージングシステムズ株式会社
企画協力：コンタクト

INSTITUT FRANÇAIS
アンスティチュ・フランセ日本
JAPON

［交通案内］
◎電車で…JR福島駅東口より福島交通飯坂線→「美術館図書館前駅」下車（徒歩2分）
◎バスで…JR福島駅東口より福島交通バス9番乗場、ももりん2コース→「県立美術館入口」下車（徒歩3分）
◎タクシーで…JR福島駅東口、西口より約5分
◎車で…東北自動車道福島飯坂I.C.より約15分、福島西I.C.より約20分　※無料駐車場（約100台）

〒960-8003　福島市森合字西養山1番地
tel.024-531-5511
http://www.art-museum.fks.ed.jp

福島県立美術館
Fukushima Prefectural Museum of Art

次回の企画展：「生誕110年・没後20年　斎藤清からのメッセージ」2017年10月7日（土）～12月10日（日）